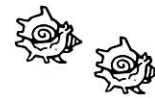
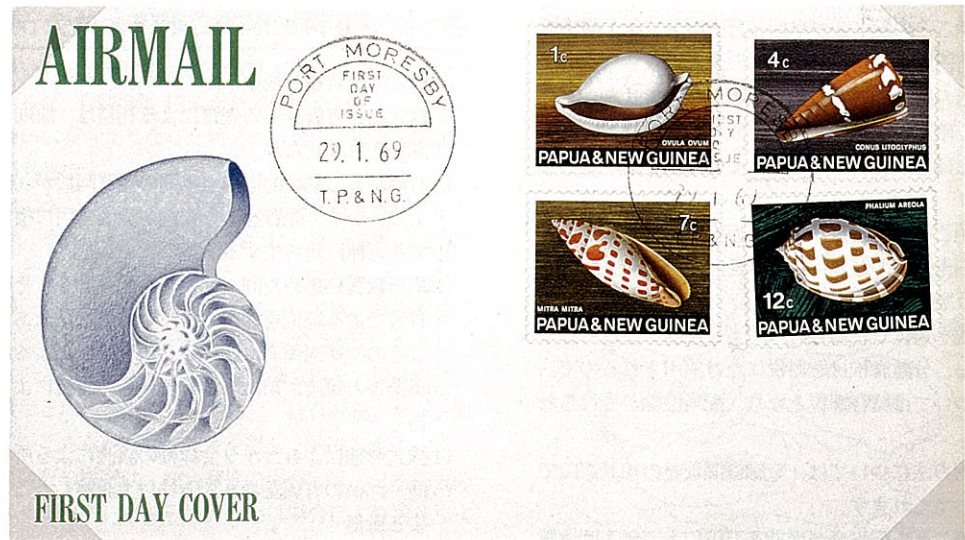


ウミウサギ

分類：中腹足目 ウミウサギ科(腹足綱)
 学名：*Ovula ovum*
 英名：Egg cowry

太平洋の温帯から熱帯海域に分布し、5m～20mのところろに生息する。殻は典型的な卵型で、色彩もまた同様である。両端はイボ状にかなりの太さで突き出ている、外唇に連なり、内側に巻き込む不規則なひだが良く目立つ。殻は極めて堅固で厚味もあるので、種々の貝細工に加工される。背面の光沢のある白い陶器質に輝き、殻口内は赤紫味をおびた褐色。タカラガイに良く似ているが内唇にひだがなく殻頂は成長しても残っている点で区別される。貝の輝きのある白さとは反対に、動物体の黒い外套膜に包まれて生息しているので捕獲し難い。



ツマベニヒガイ

分類：中腹足目 ウミウサギ科(腹足綱)
 学名：*Volva volva*
 英名：Shuttle cowry

太平洋および印度洋の亜熱帯から熱帯にかけて暖海域に分布し、水深20m位のところに生息する。ヒガイは織機用具の梭(ヒ)に似ているところから名付けられた。殻は薄く、体層は円く膨みをもった紡錘形で水管は両端に長く伸びる。殻口外縁はやや厚く、殻表は平滑で淡い桃色で、両端附近は紅色となっている。殻の長さは11cm以上になる大型種。

